

巡ってみよう

渥美半島の文化財

文化遺産・文化財マップ
田原市文化遺産地域活性化実行委員会編

縄文文化を育んだ渥美半島

よしご かいづか 国 J-2 ①
吉胡貝塚

縄文時代の後期末・晩期の日本を代表する貝塚遺跡。貝層の範囲は4500㎡にも及びます。発掘調査で340体を超える縄文人骨のほか、縄文土器・石器・骨角器、動物遺体等、多数の遺物が出土。シェルマよしごでは、屋外での貝塚の断面・平面展示のほか、資料館内で、縄文の人々の暮らしについて出土品、模型、写真で分かりやすく説明。火おこしや貝のアクセサリーづくりなどの縄文体験も人気。

関連 田原市博物館(二の丸櫓)、渥美郷土資料館、シェルマよしご

シェルマよしご J-2
(吉胡貝塚資料館 / 吉胡貝塚史跡公園)

- ¥ 一般 200円 / 小中学生 100円
- 📍 田原市吉胡町矢崎 42-4
- 🕒 9:00-17:00 (最終入館16:30)
- 🗓️ 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始
- 📞 有 ☎️ 0531-22-8060



いかわづ かいづか 県 F-3 ②
伊川津貝塚

伊川津町郷中全体に広がる大貝塚。神明社の境内では、貝が1m以上の厚さで堆積したところも。縄文時代後期から晩期の人骨が出土し、中でも文状研歯のある頭骨や有髻土偶は全国的に有名。

📍 田原市伊川津町郷中 87-1, 87-2 (伊川津神社) 📍 無

ほびかいづか 市 D-3 ③
保美貝塚

免々田川西岸の台地上に広がる貝塚は、縄文時代中期頃から弥生、古墳各時代の遺物が出土。出土品の中には、人骨をはじめ文状研歯のある頭骨・土器・骨角器・石器・銅鏃などがあり、盤状集骨墓という珍しい埋葬の方法も見つかっています。📍 田原市保美町平城 117 📍 無

かわじ かいづか
川地貝塚

過去の調査で縄文土器・石器・骨角器・土面・動物遺体等が出土。たくさんの石錘やこの地域では珍しい土面(粘土で作った仮面)が見つかっています。



よしご かいづか し せき こうえん
▲吉胡貝塚史跡公園

平安時代終わりから鎌倉時代に 営まれた、まぼろしの窯跡 渥美窯

かつて、600基もの窯が作られた渥美窯。渥美半島は、平安時代終わりから鎌倉時代には、焼物の一大生産地でした。市内には、3つの国指定史跡と県・市の指定史跡のほか、多くの窯跡と出土品が見つかっています。

関連 田原市博物館(二の丸櫓)、渥美郷土資料館



伊良湖東大寺瓦窯跡 国 C-4 4

田原市伊良湖町瓦場 358-14 P 有(初立池公園)

平安時代末期から鎌倉時代に活発な生産活動が展開された渥美窯のひとつ。3基の窯跡が保存されています。「東大寺大佛殿瓦」と刻印された軒丸瓦や軒平瓦などの瓦や瓦経のほか、瓦塔などの宗教用具が出土しています。



県 伊良湖東大寺瓦窯跡出土品▶



大アラコ古窯跡 国 G-4 7

平安時代末期、当時の三河国司藤原顕長の銘入り壺が焼かれた窯跡。ここで焼かれた製品には奥州平泉の藤原氏のもとまで運ばれたものもあります。渥美半島の窯業の繁栄を示す貴重な窯跡。

田原市芦町郷津、大アラコ P 無



百々陶器窯跡 国 J-4 8

窯業の研究が進んでいなかった指定当時(1921年)は、奈良時代の窯跡とされていましたが、他と同様に中世の窯跡です。我が国の窯業史を考えるうえでも重要な史跡として有名。台地の南斜面にトンネル状に構築された窯が、一部天井を遺して残っています。甕、壺、碗が焼かれていました。

田原市六連町一本木 11-4 P 無 ▲ 歩行注意

つぼさわ 渥美半島 坪沢古窯跡群

かつて産地不明の幻の「黒い壺」と呼ばれた連弁文壺が焼かれたとして、渥美窯の名を全国に知らしめた窯跡です。渥美窯成立の時期から終末期まで続いた渥美半島最大の窯群です。うち5基が発掘され、大甕・長頸壺・短頸壺・広口壺・山茶碗など種類・量共に多くのものが出土しました。

そうさく 渥美半島 惣作古窯跡群

鎌倉時代に築かれた、主に碗・皿類を焼いた21基の窯が確認されています。10号窯からは、ざれ歌が刻まれた碗(市指定)が出土しました。碗の外表面には、植物と男女の赤裸々な情愛の歌が刻まれ、全国的にも珍しいものです。



▲ざれ歌の碗(刻字、刻文碗) 惣作10号窯 市

やまさき 山崎遺跡

芦ヶ池東北部の池底にあつて、向山古墳群を築いた人々が生活していたところ。発掘調査で大量の須恵器・土師器・木器が出土。木器には、建築材・農耕具・生活用具・祭祀具のほか、弓や馬具などの武具もみられました。古墳時代から奈良時代にかけての遺跡で、渥美半島で最も繁栄した場であったと思われる。



しんめいしゃ 神明社古墳 J-1 9

稲荷社の奥に古墳の石室入口があります。径約15mの円墳。横穴式石室は規模が大きく保存も良好。石室内には2組の石棺がおかれていました。大刀・馬具・須恵器等が出土。棺のそばから金銅装・銀装大刀の金具が出土し、6世紀後半に築かれた有力者の古墳と考えられます。田原市田原町北番場 1 P 有



さらやき 血焼古窯館 市 D-4 10

渥美窯のひとつ『血焼古窯跡群』(13基)の中で最も状態が良かった「12号窯」を保存展示したものです。日常生活品や特殊製品を焼いた渥美窯の構造が見られる唯一の施設です。

田原市小塩津町後山 1 9:00-17:00(最終入館 16:30) 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始 P 有 0531-38-0111(渥美運動公園) ▲ 見学の際は、渥美運動公園事務室で受付が必要です。



さらやま 血山古窯群 県

血焼古窯が立地する山の東側斜面に築かれた窯跡で、8基のうち3基が調査されています。ここからは、日常生活に使われた山茶碗や小皿のほか、甕、子持器台などの宗教用具が出土しています。窯の保存状態が良好な遺跡です。

にし はませい えん い 西の浜製塩遺跡群 B-3 11

西の浜一帯は、古墳時代に製塩土器による「塩づくり」が盛んに行われた所です。「西の浜海浜の森」には、七本松遺跡の製塩のマウンドが保存されています。ここで作られた塩は、奈良の都平城京へも特産物(調塩)として運ばれていました。

田原市中山町岬 1-18(西ノ浜海浜の森) P 有



▲製塩土器(飛鳥時代/一膳松遺跡)

ふじわら 藤原古墳群

6世紀から7世紀に造営された豪族の墓。18基確認でき、金銅装大刀、耳環、鉄鍬、須恵器などの副葬品が出土。この古墳群は、円墳で、海浜に立地する大変に珍しいものです。

にいのみ 新美古墳 市

汐川に面した台地上に造られた、横穴式石室を持つ、推定直径約20mの円墳。発掘調査では須恵器、鉄製品、耳環が見つかっています。6世紀後半に築造された、渥美半島を代表する首長墳のひとつです。

むかいやま 向山古墳群

芦ヶ池東南の小山には、山頂・山麓にかけて22基もの6世紀～7世紀の古墳が造営されています。うち15基が調査され、須恵器・大刀・刀子・鉄鍬・鉄斧・鉄鎌・馬具・玉類・耳環が出土しています。



じょうほう 城宝寺古墳 県 K-2 5

城宝寺の山門脇にあります。6世紀のもので、横穴式石室は渥美半島最大規模です。田原市田原町稗田 50 P 有 0531-22-0076(城宝寺)



かごいけ 籠池古墳 市 H-3 6

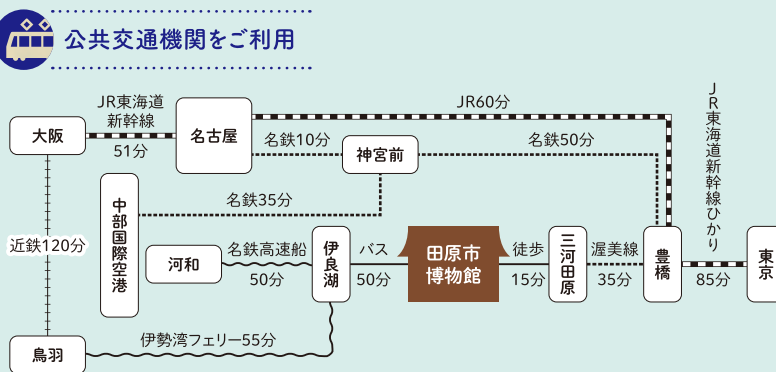
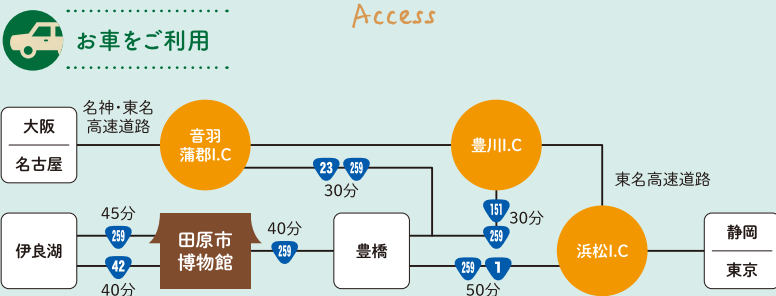
径20mほどの円墳で、墳丘は良く残っており、横穴式石室の天井は一部失われていますが、渥美半島では屈指の規模。石室内には組合式石棺が設けられています。発掘調査では須恵器などが出土。6世紀後半頃の有力豪族層のもの。田原市大久保町籠池 P 無

文化財めぐりのエチケット

文化財は、長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産です。次のことに心がけて、気持ちよく文化財めぐりをお楽しみください。

- ✓ 有形文化財に許可なく手を触れたり、動かしたりしない。
落書きなど絶対しない。
- ✓ 記念物に指定されている植物・動物・地質鉱物を持ち出さない。
- ✓ 建物内の文化財等の写真撮影は決して無断で行わない。
- ✓ 文化財のある場所での火気使用は絶対にしない。

アクセス Access



田原城と渡辺華山

三河湾支配の拠点となった田原城
江戸時代後期に活躍した田原藩の藩士・渡辺華山



田原城 K-1 12

田原城は1480(文明12)年ごろ、戸田宗光によって築城。当時は城域が海に囲まれ、その湾の形から「巴江城」とも呼ばれていました。石垣、堀、土塁の一部などが残っており、桜門と二の丸櫓が復元され公園として整備されています。

住 田原市田原町巴江 11-1

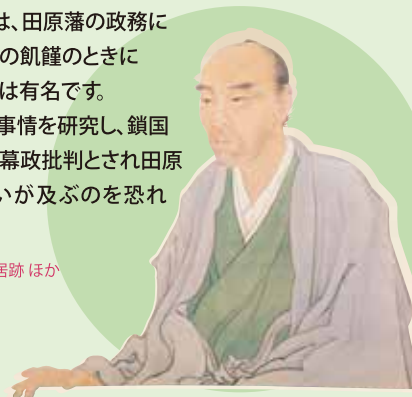


渡辺華山

1793(寛政5)年、江戸の田原藩上屋敷(現最高裁判所付近)で生まれた渡辺華山は、8歳から藩に仕え、鷹見星卓や佐藤一斎、松崎謙堂らから、朱子学や陽明学を学びます。幼少のころから、絵画にも親しみ、すぐれたデッサン力をもとに、独特の描線と西洋画の遠近法などをとり入れ、多くの名作を世に送り出しました。

40歳で藩の家老職に就いてからは、田原藩の政務に貢献。義倉「報民倉」を設け、天保の飢饉のときに1人の餓死者も出さなかったことは有名です。また一方で、高野長英らと西洋事情を研究し、鎖国の非を『慎機論』で記しましたが、幕政批判とされ田原で蟄居を命じられます。藩に災いが及ぶのを恐れ1841(天保12)年、49歳で自刃。

関連 田原市博物館、渡辺華山 池ノ原幽居跡 ほか



田原市博物館 K-1 13

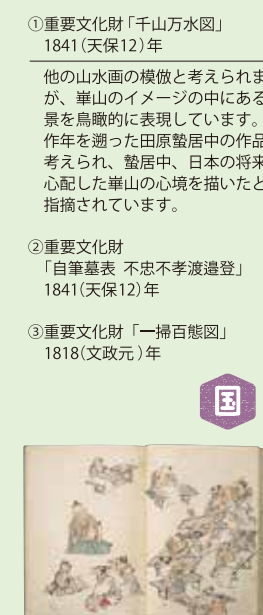


田原城二の丸跡に建設された「田原市博物館」。渡辺華山、田原藩関係資料をはじめ、市の歴史資料が多数展示され、田原市の歴史を紹介するシンボルとなっています。

- 住 田原市田原町巴江 11-1
- 休 毎週月曜日(祝日の場合はその翌平日) 展示替日、年末年始
- 時 9:00-17:00 (最終入館16:30)
- 料 一般310円、小・中学生150円 (企画展等の場合は別に定める)
- TEL 0531-22-1720 P 有



田原市博物館では、重要文化財 千山万水図、渡辺華山関係資料はじめ、渡辺華山に関する絵画・歴史資料が多く収蔵されています。渡辺華山に関連する展示は、常設展示と、華椿系の絵画を中心としたコレクションを通年で展示しています。



- ①重要文化財「千山万水図」
1841(天保12)年
他の山水画の模倣と考えられますが、華山のイメージの中にある風景を鳥瞰的に表現しています。制作年を遡った田原蟄居中の作品と考えられ、蟄居中、日本の将来を心配した華山の心境を描いたとも指摘されています。
- ②重要文化財
「自筆墓表 不忠不孝渡邊登」
1841(天保12)年
- ③重要文化財「一掃百態図」
1818(文政元)年

歴史探訪クラブ

田原市博物館学芸員が、広報たはらに掲載した情報です。田原市の史跡、社寺などの情報を検索できます。



文化遺産・文化財マップ

発行 | 田原市文化遺産地域活性化実行委員会
問合せ | 田原観光情報サービスセンター TEL.0531-23-2525
田原市博物館 TEL.0531-22-1720
制作 | 株式会社シンプリ



令和5年度
地域文化財総合活用推進事業
令和6年2月



渡辺華山が無実の罪により蟄居を命じられ、晩年を過ごし自ら果てた屋敷跡。公園内には、華山の銅像やオブジェがあり、ベンチ、東屋、散策路も整備されています。また、併設の田原市池ノ原会館では、気軽に茶席が楽しめます。

住 田原市田原町中小路 17
☎ 0531-23-2446 (池ノ原会館) **P** 有



ちようこう じ
長興寺 **H-3** **21**

田原城を築いた戸田氏の菩提寺。戸田氏代々の墓所もあり、長く、屈曲した参道と回廊を備えた伽藍配置は、落ち着いた雰囲気を出しています。

住 田原市大久保町岩下 8 **☎** 0531-22-2598 **P** 有

県
 もくそうかん ぜ おんりやうそう
 木像観世音立像
 なたほり
 藤原期制作。通称：鉦彫観音



華山神社 **K-1** **15**

田原城出丸跡に建てられた華山神社。華山の遺徳をしのび、命日の10月11日に大祭が開催されます。御朱印の販売や関連資料の展示も。

住 田原市田原町巴江 12-1 **☎** 0531-22-1700 (華山会館) **P** 有



華山神社御朱印



こんのう じ せんもん
厳王寺山門 **G-5** **20**

1500(明応9)年に開かれた田原城主戸田氏ゆかりの寺です。江戸時代中期に建立された山門は、薬医門と呼ばれる様式です。当市に現存する古い木造建築の一つで、市指定文化財となっています。屋根に葺かれた鬼瓦には「宝永3年」(1706)の刻印が見られます。

住 田原市赤羽根町寺山 15 **☎** 0531-45-2055 (厳王寺) **P** 有



りゅうせん じ
龍泉寺 **K-2** **19**

田原藩の藩医で渡辺華山と共に蘭学・兵学の研究に尽力した鈴木春山とその母、真宗の篤信者園の墓があります。また、山門の脇には松尾芭蕉の「寿久三行や馬上尔氷る影本うし」の句碑があります。芭蕉は、1687(貞享4)年に渥美半島を訪れています。

住 田原市田原町新町 82-2 **☎** 0531-22-0241 **P** 有



れいがん じ
靈巖寺 **J-1** **18**

1664(寛文4)年から明治維新まで、田原藩を治めていた藩主・三宅家の菩提寺。拳母城主であった三宅氏が西加茂郡梅ヶ坪村で再興し、田原に移封するにあたり、この靈巖寺も田原に移しました。

住 田原市田原町北番場 3 **☎** 0531-22-1519 **P** 有



じょうほう じ
城宝寺 **K-2** **17**

住 田原市田原町稗田 50
☎ 0531-22-0076 **P** 有

渡辺華山の菩提寺。本堂奥の華山霊牌堂には、日本有数の画家・書家による作品で天井が飾られています。境内には華山の句碑「見よや春大地も亨す地虫さへ」があります。



ちようせん じ こまどう
長仙寺護摩堂

市 **K-4**

住 田原市六連町居屋敷 26
☎ 0531-27-0817 (長仙寺) **P** 有 ▲松平家康判物



徳川家康の本陣跡とされ、徳川家康・今川義元の古文書も保管しています。3月の第2日曜日に「おたがまつり」が行われ、厄除開運を願う「玉取祭」、初物の植木市としても知られています。

めぐ あつ み はん どう
巡ってみよう渥美半島

田原市文化遺産地域活性化実行委員会 **2023年度活動報告**

海に囲まれた渥美半島には、後期旧石器時代から近代までの遺構や出土品、特徴的な樹木・植物群落、そして地元で伝承されてきた伝統文化があります。このような文化財は、渥美半島の歴史の中で生まれ、はぐくまれ、守り伝えられてきた貴重な財産です。実行委員会では、こうした文化財を、地域の宝としてみなさんに紹介しています。



おもてなしガイド養成講座

渥美半島の文化遺産を守り・伝え・継承していくことをめざした養成講座の開催。



田原風の普及活動



市指定文化財「田原風けんか風合戦・初風」を次世代に継承。

渥美半島文化遺産スタンプラリー

伊良湖と渥美窯をテーマに2か所の道の駅と16か所の文化財を紹介。

- 風の学校はやぶさ運営事業
- 田原風・祝い舞うプロジェクト
- 子ども風まつり



渥美窯の普及活動

中世に栄えた渥美窯の歴史と、作陶体験とおした地域の文化紹介。

- 渥美窯講習会
- 渥美窯展示会
- 講演会

自然と文化

蔵王山

標高250mの蔵王山の地質は周辺の山々と同じチャートでできています。泥岩や石灰岩が見られるところも。麓の権現の森から登山ルートがあり、蔵王山展望台からは渥美半島を一望できます。

住 田原市浦町蔵王1-46(蔵王山展望台) 休 9:00-22:00
 P有 0531-22-0426



宮山原始林

かつて伊良湖神社の神域として立ち入り制限されていた宮山は、県の最南端近く、高温多湿のため草木がよく茂り、原生林の状態を保っています。樹木は、暖地性常緑闊葉樹を主として、常緑植物と陰地性の草木が密生し、典型的な海岸暖地性の常緑樹林となっています。伊良湖リゾート&コンベンションホテル駐車場入口に案内看板があり、宮山を眺めることができます。

住 田原市伊良湖町宮下 2822-2 P有
 (伊良湖リゾート&コンベンションホテル)

椋のシデコブシ自生地

住 田原市伊川津町椋※石神交差点に案内看板あり P有



三方を海に囲まれた渥美半島には、半島の特徴的な樹木・植物群落、そしてそこに住む人たちによって育まれた文化があります。



光岩(鏡肌の岩)

赤羽根西山標高約120mの北側斜面に位置し、断面は高さ9m、幅22m、岩体は中生代に形成されたチャート。断層運動の熱によって生じる、光沢を帯びた断面は鏡肌とも呼ばれます。この光岩は保存状態も良く、日本でも第一級の規模のものであります。

住 田原市赤羽根町西山1-5 P有 ▲歩行注意



鸚鵡石

伊川津町椋にある高さ15m、幅15mのチャートでできた巨大な岩。石の表面には、斜めに走る岩と岩が擦れ合った時についた跡と表面のささくれを見ることができます。石の名前の由来は、鸚鵡が人まねをするように音を反響させるという言い伝えによるものです。

住 田原市伊川津町椋 P無 ▲歩行注意



ハマボウの野生地

西南暖地の海岸付近に自生する落葉樹で、初夏から8月にかけて、むくげに似た黄色の花を咲かせます。指定当時(1955年)は、この自生地が分布の北限とされていました。

住 田原市堀切町新堀西地内 P無

伊川津のシデコブシ

住 田原市伊川津町椋※石神交差点に案内看板あり P無

黒河湿地植物群落

県 H-4 28

シデコブシやヤチャナギ、シラタマホシクサなど貴重な植物が多数群生しています。湿地には、ハッチョウトンボなども生息しています。

住 田原市大久保町黒河49-1、49-7 P有



藤七原湿地植物群落

市 I-2 30

衣笠山の東北斜面にある広い湿地。ヌマガヤ群落、ヒトモススキ群落があります。シデコブシの群生地として、東海地方最大級の規模を誇っています。

住 田原市田原町衣笠1-1、椿沢17、17-1、34 P有



▲シデコブシ開花情報

シデコブシ

シデコブシは、モクレン科に属する落葉小喬木で、高さ2~3mに達します。湿地を好み3月中下旬に、白やピンク色の花をつけます。その分布は非常に限られており、愛知県や岐阜県、三重県の主に伊勢湾周辺のみで自生し、ほかの地域ではほとんどみられません。

田原まつり会館

田原祭りのからくり人形と山車や田原風の展示を中心に、市内の主な祭りを紹介。

住 田原市田原町稗田17
 休 10:00~16:00(最終入館15:30)
 休 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始
 料 無料 P有
 0531-22-7337



凧まつり(田原風けんか凧合戦・初凧)



子どもの健やかな成長を願い初凧をあげたのがはじまりとされる「凧まつり」。毎年5月の第4土曜日・日曜日に開催。「けんか凧合戦」では、凧糸にガラスの粉をつけて鮮やかな糸さばきで互いの凧糸を切りあいます。



田原祭り

毎年9月中旬の3日間にわたり開催され、子ども学校観舞う夜山車や大筒・手筒花火なども披露されます。本町、新町、萱町の山車とからくり人形は市の文化財に指定。



豊島大念仏おどり

初盆の霊を供養するための行事で、かつては他の地区でも行われてきましたが、現在残っているのは豊島地区のみ。8月13日の夕方から、光福寺の境内を起点とし、太鼓と囃子を奏でながら、初盆のお宅をまわり踊ります。

伊良湖岬と文学

海に囲まれた渥美半島の先端、伊良湖岬。
風光明媚なこの場所は、多くの和歌や歌、文学の場となりました。
松尾芭蕉や柳田國男など、多くの人が訪れています。



▲恋路ヶ浜

伊良湖岬灯台 [A-5] 32

1929(昭和4)年に開設されたこの灯台は、光度1万7千カンデラで、半島の先端に立っています。海の難所「伊良湖度合(伊良湖水道)」で神島灯台とともに行き交う船舶の安全を守ります。

📍 田原市伊良湖町 P 伊良湖クリスタルポルト
または恋路ヶ浜駐車場から徒歩

伊良湖神社 [B-5] 33

昔、伊良久大明神といわれ、その草創は875(貞観17)年にまでさかのぼります。この地が伊勢神宮領伊良湖御厨であったことから、神宮と深い関わりを持っていました。現在のおんぞまつり(御衣祭)は、4月の第3日曜日に行われます。

📍 田原市日出町骨山 1407 P 有

ひ 日の石門 [B-5] 34

太平洋の荒波が打ち寄せ、長い年月をかけて中央が空洞になった奇岩。日の出の時刻には美しいシルエットが見られます。石門は層状に堆積したチャートなどからなります。📍 田原市日出町 P 有

「椰子の実」記念碑 [B-5] 35

1898(明治31)年、後の民俗学者柳田國男が恋路ヶ浜で拾った椰子の実の話を親友島崎藤村に語り、「椰子の実」の詩が誕生。1936(昭和11)年には、大中寅二の作曲により国民歌謡となります。詩・曲二つの記念碑が揃って建てられています。

📍 田原市日出町 P 有



まんよう か ひ 万葉の歌碑 [A-5] 36

「うつせみの命を惜しみ浪にぬれ伊良湖の島の玉藻刈り食す」(万葉集巻一)天武朝の皇族麻統王が伊良湖に流された時に詠まれた歌が鈴木翠軒の揮毫により刻まれています。📍 田原市伊良湖町古山



と ぐく ぐら えん 杜国公園 [D-3] 37

「春ながら名古屋にも似ぬ空の色」芭蕉の愛弟子 杜国は、罪により郷里(名古屋)を追われ、保美の里に移り住むようになりました。「杜国屋敷址」の標柱と句碑があります。

📍 田原市保美町下地 20-2 P 無



ちゅう おん じ 潮音寺 [D-3] 38

境内には杜国の墓と師弟三吟の句碑が並んで建てられています。墓は、境内に移される以前の1744(延享元)年、彼を慕う人々によって建立。また、碑には芭蕉と越人、杜国の句が刻まれ、1921(大正10)年に完成。毎年4月には、杜国祭が開催されます。

📍 田原市福江町原ノ島 3 ☎ 0531-32-0460 P 有



いのりの磯道 [A-5] 39

道の駅伊良湖クリスタルポルトから伊良湖岬灯台へと続く道には、漁夫歌人糟谷磯丸の詠んだ様々なまじない歌などが並ぶ「いのりの磯道」があります。磯道の入口には、生誕250年を記念した銅像が建てられています。



いそ まる えん 磯丸園地 [B-4] 40

伊良湖シーサイドゴルフ場の西、国道から少し北に入った所に糟谷磯丸の園地があります。ここには、「夏ころもきてみよかしいらご崎涼しき浪のよるの月かげ」と刻まれた歌碑と家内安全を願うまじない歌の歌碑があります。📍 田原市伊良湖町宮下 P 有



渥美半島の戦争遺跡

1901(明治34)年、西の浜一帯は伊良湖射場(陸軍の試砲場)の用地として接収されました。太平洋戦争の終結まで、戦争に関わりのある施設と多くの軍人たちがいました。1906年には、伊良湖射場の用地拡大により伊良湖村の全村民が集団移転をしています。1945(昭和20)年の終戦により、施設は廃止となりましたが、現在でも多くの遺構が残されています。



▲伊良湖射場跡(気象塔兼展望塔と無線電信所) [D-2]



え ひ ま く ひ ぐら えん 江比間句碑公園 [F-3] 41

白田壘浪、市川丁子、鈴木鵬子、太田鴻村、伊藤明峰、松尾芭蕉などの句碑があります。

📍 田原市江比間町郷中 P 有



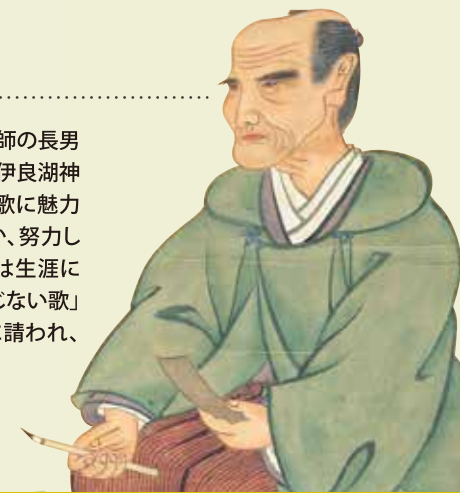
ばしやう おう の ひ 芭蕉翁之碑(芭蕉園地) [B-4] 42

「鷹一つ見つけてうれし伊良湖崎」この句は芭蕉が1687(貞享4)年に保美隠棲中の愛弟子杜国と共に伊良湖を清遊した時の句で、石碑はこの地方の俳人が杜国百年忌を記念して、1793(寛政5)年に建立したものです。📍 田原市伊良湖町宮下 P 有

漁夫歌人 糟谷磯丸

1764(明和元)年、伊良湖村の漁師の長男として生まれました。糟谷磯丸は、伊良湖神社に参拝する旅人が口ずさむ和歌に魅力を感じ、読み書きができないなか、努力し歌を作るようになりました。磯丸は生涯にたくさんの歌をつくり、中でも「まじない歌」は願いが叶う歌として多くの人に請われ、大切にされました。

関連 いのりの磯道、磯丸園地ほか





田原市博物館 13
 二の丸櫓(観覧無料)では考古資料も充実しています。

- 📍 田原市田原町巴江 11-1
- 🕒 9:00-17:00 (最終入館 16:30)
- 📅 月曜日(祝日の場合はその翌平日)、年末年始、展示替日
- 💰 一般 310円 / 小学生 150円 (企画展等の場合は別に定める)
- ☎ 0531-22-1720 🅐 有



渥美郷土資料館 43
 地元の考古、歴史資料が揃っています。

- 📍 田原市古田町岡ノ越 6-4
- 🕒 9:00-17:00(最終入館 16:30)
- 📅 月曜日(祝日の場合はその翌平日)、年末年始
- 💰 無料 🅐 有
- ☎ 0531-33-1127(田原市博物館に転送)

歴史ウォーキングトレイル



田原城周辺の散策におすすめです。



凡例

- 史跡・名所
- 史跡・名所<遺跡のみ>
- 東海七福神
- 国道
- 県・市・町道
- 河川

道の駅
 伊良湖クリスタルポルト
 伊良湖岬灯台
 いのりの磯道

磯丸園地
 宮下
 芭蕉翁之碑(芭蕉園地)
 宮山原始林
 恋路ヶ浜
 伊良湖神社
 「椰子の実」記念碑
 日出の石門

伊良湖東大寺瓦窯跡
 常光寺
 城山
 ハマボウの野生地

血焼古窯館(血焼12号窯)
 血山古窯群

保美貝塚
 潮音寺
 高田
 古田
 保美
 杜国公園

渥美郷土資料館
 田原市役所 渥美支所

泉福寺

雨乞山
 桃のシデコブシ自生地
 伊川津のシデコブシ
 鸚鵡石

大山

法林寺

伊良湖射場跡
 (気象塔兼展望塔と無線電信所)

藤原古墳群

中山須賀

西の浜製塩遺跡群

川地貝塚

西ノ山

梅敷

高田

保美

古田

高木東

石神

雨乞山

泉福寺

桃のシデコブシ自生地

伊川津のシデコブシ

鸚鵡石

大山

法林寺

259

42

和地

あつみ大山トンネル



三河湾

江比間句碑公園
道寺

ふるさと教育センター ●野田

サンテパルク
たはら

大アラコ古窯跡
山崎遺跡

田原市

光岩 (鏡肌の岩)

42

中村

蔵王寺山門

高松一色
瑠璃寺

道の駅あかばねロコステーション

太平洋

藤七原湿地植物群落

衣笠山

滝頭山

長興寺

籠池古墳

大久保

259

坪沢古窯跡群

惣作古窯跡群

新美古墳

道の駅田原
めっくんはうす

蔵王山

蔵王山口

シェルマよしご
(吉胡貝塚資料館/
吉胡貝塚史跡公園)

42

百々陶器窯跡

百々

0 500 1,000 1,500 2,000m

二次元バーコードから、①～④③の
史跡・名所をめぐるができます



拡大図

1

2

3

4

5